

平成20年度三島地域ふるさと創生基金事業の実施について

みしま民話プロジェクト

～地域と未来に広げるふるさとの昔話～

地域資源再発見プロジェクト

平成20年度三島地域ふるさと創生基金事業計画(その1)

事業名	<p>みしま民話プロジェクト(継続事業) ～地域と未来に広げるふるさとの昔話～</p>
事業の目的・内容	<p>【目的】 平成19年度に実施した「みしま民話コンテスト」では、紙芝居、絵本、劇脚本の各部門で30点の作品の応募があった。この入選作品等について、製本を行うとともにデジタルデータ化して長岡市ホームページに掲載し、多くの人から三島地域に伝わる民話に触れてもらえるようにすることにより、地域への愛着を深め、地域の魅力を広くアピールすることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>1 紙芝居、絵本の製本等について</p> <p>(1)製本する作品 「みしま民話コンテスト」の最優秀賞・優秀賞を受賞した作品 ・『チノン坂キノン坂』(絵本) ・『仁王様の膝つき池』(紙芝居) ・『おととクロ』(絵本)</p> <p>(2)活用方法 ・市内の小学校への配布 小学校60校の図書館等に配置を依頼する。 ・市内の図書館への配布 図書館9箇所配置を依頼する。 ・支所での貸し出し 支所を窓口として一般住民向けに貸し出しを行う。</p> <p>(3)製本等を行う部数 各作品とも100部程度</p> <p>(4)紙芝居公演等 紙芝居、絵本の完成に合わせて紙芝居公演等を行い、地域住民等に紙芝居と絵本についてPRするとともに、民話の魅力を伝える機会とする。</p> <p>2 デジタルデータ化について</p> <p>(1)DVDの製作 「みしま民話コンテスト」の最優秀賞・優秀賞を受賞した作品について、ナレーションとBGM付きのDVDを制作し、保存する。</p> <p>(2)ホームページへの掲載 DVDとしてデジタルデータ化したものをホームページに掲載することにより、多くの人々が手軽に楽しめるようにする。</p> <p>3 これまでの活動の継続</p> <p>(1)大型紙芝居等の貸し出し (2)民話劇団の支援</p>
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・三島地域に語り継がれている伝説を紙芝居や絵本として製本し、小学校や図書館を通じて貸し出すことにより三島地域への愛着を深め、未来を担う子どもたちの郷土愛を育むことができる。 ・市内の図書館での貸し出しや、市ホームページへの掲載を行うことにより、三島地域以外の人々にも民話の魅力とその舞台となった三島の歴史や豊かさ、奥深さをアピールすることができる。 ・製本やデジタルデータ化を行うことは民話の活用面における選択の幅を広げるもので、将来の世代にきちんとした形で受け継いでいくことができる。

平成20年度三島地域ふるさと創生基金事業計画(その2)

事業名	地域資源再発見プロジェクト(新規事業)
事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>三島上条地区にある「猿塚」「経塚」は歴史が古く、そのため長年の風雪による影響や平成16年の中越大震災の被害により、いずれの塚も壊滅的な状況となっていることから、現在、地元住民やみしま観光推進協議会が保存のための活動を開始しているところである。</p> <p>本プロジェクトは、地域住民等を主体とした歴史的資源の再興及び地域の歴史の再発見により地域活性化につなげることを目的に行うものである。</p> <p>【内容】</p> <p>1 「猿塚」「経塚」及び周辺の歴史的資源の調査、研究 地元住民やみしま観光推進協議会等を主体として、「猿塚」「経塚」についての歴史的背景等を調査する。また、その周辺の歴史的資源を研究し、これらを連携させることも研究する。</p> <p>2 説明看板の制作など (1)看板の内容の検討と制作 1により調査、研究した題材をもとに、地元住民やみしま観光推進協議会により説明看板の内容を検討、作成する。 (2)看板の設置及び管理 看板については、設置場所に係る権利関係の整理及び必要な手続きを行った上で設置する。 なお、「看板制作をもって終了」とせず、地域資源を示すものとして持続させることができるよう、看板の設置については、地元住民を主体とした管理体制を整えた上で行う。</p> <p>3 観光資源としての活用 「猿塚」「経塚」はもとより、周辺の歴史的資源についても観光ポイントとして連携させることも見据えながら、観光パンフレット等の題材として活用する。</p>
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民等が主体となって必要な調査、研究を行うとともに説明看板を制作することにより、住民が地域の魅力を再発見する機会とすることができる。 ・埋もれかけていた地域の歴史スポットに光を当てることになることから、観光や教育面などへの波及効果も期待できる。 ・地元住民等が一丸となって事業を行うことにより、参加者同士の結びつきも強くなることが期待でき、さらに、地域の歴史的資源を地元住民が主体となって再興する先例となり、他の地区への波及効果も期待できる。

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	内 訳
1 負担金	2,190,000	長岡市三島支所地域振興課から
合 計	2,190,000	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	内 訳
1 報償費	110,000	(1) 実行委員会関係 90,000 ・委員会出席謝金 (@3,000円 × 10人 × 3回)
		(2) みしま民話プロジェクト関係 20,000 ・紙芝居公演等謝金
2 需用費	1,150,000	(1) 実行委員会関係 20,000 ・事務用消耗品費(一式) @10,000 ・会議お茶代 (@150円 × 17人 × 4回)
		(2) みしま民話プロジェクト関係 1,130,000 ・絵本印刷費 @450,000 × 2作品 ・紙芝居印刷費 @200,000 × 1作品 ・紙芝居公演消耗品費 @10,000 ・大道具・小道具代(一式) @20,000
3 役務費	930,000	(1) 実行委員会関係 15,000 ・郵便料(一式) @5,000 ・振込手数料(一式) @10,000
		(2) みしま民話プロジェクト関係 410,000 ・ホームページ作成・DVD制作費 3作品で410,000
		(3) 地域資源発掘プロジェクト関係 505,000 ・郵送料(一式) @5,000 ・看板制作費 (@250,000 × 2箇所)
合 計	2,190,000	